

第3章 市民会議の検討内容

第3章 市民会議の検討内容

1. ちとせ都市景観市民会議の開催状況

ちとせ都市景観市民会議は、以下のようなスケジュールで開催されました。

項目	開催日時	検討内容
第1回	平成12年 9月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・ちとせ都市景観市民会議開催主旨の説明 ・千歳市の景観に関して、日ごろ感じている事柄についての意見交換
第2回	平成12年10月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの進め方、基本的なルールに関する説明 ・ワークショップでの検討スケジュールについての説明 ・現況調査内容の説明 ・ワークショップによる検討 まちなみの景観について 水とみどりの景観について
第3回	平成12年11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップによる検討 拠点の景観について みちの景観について
第4回	平成12年12月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップで検討した内容の確認 ・ちとせ都市景観ガイドプランの全体構成に関する説明と意見交換
第5回	平成13年 1月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・ちとせ都市景観ガイドプラン（案）についての意見交換
第6回	平成13年 2月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ちとせ都市景観ガイドプラン（案）の最終まとめ ・次年度の検討内容についての説明

ちとせ都市景観市民会議ワークショップ風景



2. ちとせ都市景観市民会議によるまとめ

(会議で出された意見の詳細は次のページ以降に掲載しています)

ちとせ都市景観市民会議で話しあわれた内容について、4つの景観ごとの方向性と都市景観形成における市民・事業者・行政の役割についてまとめると以下のようになります。

水とみどりの景観

千歳市は、豊富な自然が都市の身近にあることが一番の特性です。今後もこうした自然を大事に守り、育てていくことが重要です。

しかし一方で、千歳川は、親水性が失われ市民の生活からかけ離れたものとなりつつあります。千歳川は、千歳市のシンボルであり、将来の子供たちが川で学び、遊び、心のふるさとであるという意識をもてるような水辺とすることが必要です。

そして、市街地の木々や豊富な緑地は今後も大切に守り、育てていくことが重要であり、これらの緑が市民の身近な憩いの場としても活用できるよう整備していくことが必要です。

拠点の景観

人が多く集まる場所に関しては、交流の場としてふさわしい演出が特に必要であると考えます。また、高齢者や子供たちに配慮した整備や、来訪者に対しての的確でわかりやすい情報提供施設などの充実が必要です。

さらに、施設の整備ばかりでなく、適正な芝生などによるオープンスペースなどを設け、憩いの空間として提供されることが望まれます。

まちなみの景観

美しいまちなみづくりには、地域で共通のコンセプトを検討し、統一感のあるまちなみをつくりだすことが望まれます。しかし、地域の統一したコンセプトづくりには、そこに住む市民の協力と十分な話し合いの場、行政の支援・協力が必要となります。

また、千歳市の特性である豊富な自然を、まちなみの中に生かし、潤いのあるまちなみを形成していくことが必要です。

みちの景観

千歳市は交通の要衝であり、来訪者も多いことから、訪れる人々に十分配慮した沿道景観づくりが必要です。樽前山などへの眺望に対する配慮や、統一感のある街路樹、サイン類のデザイン化、外国語の併記、観光地としてのアピールなどにも配慮した整備が必要です。

また、市街地ではユニバーサルデザイン、バリアフリー、電線類の地中化など自動車だけではなく、歩行者にも十分に配慮した整備が望まれます。

都市景観形成における市民・事業者・行政の役割について

美しいまちなみを形成していくうえでは、市民・事業者・行政がそれぞれの立場から景観形成に努めていかなければなりません。

景観形成は、単にきれいな道路や建物を整備することだけではなく、ゴミを捨てない気持ちや、みどりを大切にする心を育てていくことも重要です。

今後、行政は、そうした情報提供の場や参加の場づくりを進める一方で、市民・事業者は積極的に参加し、景観形成に取り組んでいくことが必要です。

3. ちとせ都市景観市民会議の検討内容(その1) 水とみどりの景観

項目	要素	望ましい景観をつくるために(まとめ)	現況と課題
1. 水とみどりの景観	川	1-1. 千歳川 (護岸整備) 千歳川は、護岸整備をしたために直線的で瀬や淵がなく、親水性がなくなりました。市民の宝として、川幅を広げ、時間をかけて自然河川へと戻したい。そのためには市民による理想のイメージづくり、地権者、関係者への協力の呼びかけなど市民、行政の協力がが必要です。	千歳川は、護岸整備をしたために直線的で瀬や淵がなく、親水性がなくなりました ・川を身近に感じられない ・自然を感じる川ではない ・見所がない ・親水性が失われた ・水深が深くなった ・瀬や淵がなくなった ・川が直線的になった ・千歳川が護岸をしたために、川遊びができない川になってしまった。安全性を考えて、柵までできてしまった。"景観"と"安全性"は表裏一体の関係にあるのかもしれない。護岸整備にしても、生活のための治水事業なのだから(第1回)
		(遊歩道) 千歳川の遊歩道は、市街地とのつながりが薄く、道路で分断されており、歩きにくい雰囲気があります。また、水と接する場所がなく橋詰空間が生きていません。 遊歩道を市街地や商店街、川と連続させてほしい。	千歳川の遊歩道は、市街地とのつながりが薄く、道路で分断されており、歩きにくい雰囲気があります。また、水と接する場所がなく橋詰空間が生きていません ・水と接する場所がない ・市街地とのつながりが薄い ・遊歩道が道路で分断される ・川辺で憩う演出がほしい ・橋詰空間が生きていない ・歩きにくい雰囲気がある
		(親水性) 魚釣りなど子どもたちが川に親しむ場所がありません。 水量を調節し、釣りや水にふれることのできる場所をつくってほしい。 市民がイメージを検討し、行政で整備、市民理解の普及を図ります。	魚釣りなど子どもたちが川に親しむ場所がありません ・子供たちが川で遊べない ・水に親しむ場所がない ・市民の宝との意識が薄い ・水に親しむ機会がない ・魚釣りもできない ・川本来のイメージがない ・川を楽しむ視点も必要。たとえば、千歳川でサケのルアー釣りができたら楽しいだろうと思う(第1回)
		(千歳川とまちなみの連続性) まちなみは千歳川に背を向けており連続性がありません。千歳川に面したまちづくり、店づくりをしたい。 行政が整備し、市民が維持管理します。	まちなみは千歳川に背を向けており連続性がありません ・川に背を向けたまちなみ ・まちなみと川に連続性がない ・川辺を生かした店がない ・市街地との連続性がない ・千歳神社から日の出橋の区間の千歳川の景観も気になる。周囲の建物は川に背を向けて建てられているし、庭先等も川を向いていない(第1回)
		(河畔の緑地) 河畔は柳が多く、連続性はありません。市民が樹種を選定し、河畔のみどりを増やし、行政と市民で維持管理します。	河畔は柳が多く、連続性はありません ・河畔の緑に連続性がない ・河畔で憩う場所がない ・柳の木以外の樹木がほしい
グリーンベルト	1-2. グリーンベルト グリーンベルトはイメージが暗く、商店街との連続性、日常的な動きがないなど、市民に生かされていません。商店街と連動、どこからでも入れるようにして、明るく活動的な場所にしたい。利活用については市民側から提案を行います。	グリーンベルトはイメージが暗く、商店街との連続性、日常的な動きがないなど、市民に生かされていません ・イメージが暗い ・市民に生かされていない ・日常的な動きがない ・商店街との連続性がない	

意見	市民・事業者・行政の役割
市民の宝として、川幅を広げ、時間をかけて自然河川へと戻したい ・護岸を無くし、千歳川本来の姿へ戻す ・地主さんや建物の持ち主の協力で、川幅を広げる ・市民の宝物という意識を広める ・時間をかけてでも、昔のすがた(理想のすがた)へ変えていく ・地主や市民の協力で、川幅を広げる努力をする ・雨が降っていても濁らない清流をもっとアピールする	市民による理想のイメージづくり、地権者、関係者への協力の呼びかけなど市民、行政の協力がが必要です ・地権者、関係者への協力の呼びかけ ・市民、行政の協働で川に対する意識を高める ・市民による理想のイメージづくり
遊歩道を市街地や商店街、川と連続させてほしい ・遊歩道を市街地や商店街、川と連続させる	
水量を調節し、釣りや水にふれることのできる場所をつくってほしい ・橋詰空間をポケットパークや広場として活用する ・市街地に千歳川の水にふれたり遊んだりできる場所をつくりたい(安全に遊べる親水公園等) ・川の水量を調節し、部分的にでも瀬や淵をつくる ・釣りができる川にしたい(禁漁期間、区間の問題)	市民がイメージを検討し、行政で整備、市民理解の普及を図ります ・市民によるイメージづくり ・行政によるハード整備 ・市民によるイメージの検討 ・行政による市民理解の普及
千歳川に面したまちづくり、店づくりをしたい ・千歳川に面したまちづくりが必要 ・川に向けた街並みや店づくりを行う ・河畔のみどりを増やし市街地と連続するネットワークづくり ・河畔の緑を市街地と連続させる	行政が整備し、市民が維持管理します ・行政による整備と市民による維持管理
河畔のみどりを増やし、草刈りをして欲しい ・市街地の河畔のみどりを増やす ・常に美しい川となるよう河岸の草刈りを行う	市民が樹種を選定し、市民と行政で維持管理します ・市民による樹種の検討 ・行政による整備と市民による維持管理
店街と連動、どこからでも入れるようにして、明るく活動的な場所にしたい ・市民が自由に入りやすいイメージを持たせる ・明るく活動的な場所にしたい ・どこからでも入れる工夫がほしい(特に歩道側) ・商店街と連動してイベント等に活用する	グリーンベルトについて市民側から利活用の提案を行います ・市民側から利活用の提案

ちとせ都市景観市民会議の検討内容(その2) 水とみどりの景観

項目	要素	望ましい景観をつくるために(まとめ)	現況と課題
1. 水とみどりの景観	緑地	1-3. まちなかのみどり まちなかには大きな木がなく、みどりに連続性がありません。 グリーンベルトを拠点とし、小公園、街路樹、防風林、住宅のみどり等をネットワークしたい。また素材を重視しみどりと調和するまちにしたい。	まちなかには大きな木がなく、みどりに連続性がありません ・まちなかのみどりに連続性がない ・都市景観の善し悪しを考える時、市街地のなかに太く大きな木があるかどうかを基準にしている。残念なことに千歳市には太くて大きな木は存在しない(第1回) ・千歳はみどりの多いまちと聞くと、まちなかのみどりは全くないといってもいい。電線があるからと剪定された街路樹はいっぱいあるが(第1回)
		1-4. 季節感 まちなかは、季節感を楽しめる場所がなく、季節感が感じられません。市民がアイデアをだし、季節感を楽しめる樹種を選定し、場所を整備してほしい。	まちなかは、季節感を楽しめる場所がなく、季節感が感じられません ・まちなかのみどりに季節感が感じられない ・季節感を楽しめる場所がない
	街路樹	1-5. 防風保安林 防風林はイメージが暗く認知度が低く、活用されていません。 遊歩道、鳥かご等の整備により市民の利用を図ってほしい。	防風保安林はイメージが暗く認知度が低く、活用されていません ・市民に活用されていない ・市民の認知度が低い ・イメージが暗く入れない
		1-6. 青葉公園 青葉公園は、市街地の連続性がなく、場所がわかりにくく、沿道整備もない状況にあります。市民がイメージを検討し、行政が整備を行い、市街地と青葉公園を結ぶルートは、沿道の美化とサイン計画の充実を図ってほしい。維持管理は市民・事業者・行政が協力して植樹などを行います。	青葉公園は、市街地の連続性がなく、場所がわかりにくく、沿道整備もない状況にあります ・場所がわかりにくい ・市街地との連続性がない ・沿道が整備されていない
	その他	1-7. 支笏湖 支笏湖を望む展望台等がなく、観光地としてアピールができていません。自然を壊さない展望台のあり方を検討し、既存の展望台を生かし、自然に優しい展望台とします。	支笏湖を望む展望台等がなく、観光地としてアピールができていません ・支笏湖を眺望できる展望台等がない ・観光地としてのアピールができていない
		1-8. ゴミ処理 ゴミ捨て場や中央分離帯の空き缶が気になります。また、支笏湖に来る観光客のゴミは年100トンを超えています。 ゴミ問題について、市民・観光客のモラルの向上、景観形成に対する市民意識の啓発が必要です。	ゴミ捨て場や中央分離帯の空き缶が気になります。また、支笏湖に来る観光客のゴミは100t/年を超えています ・支笏湖に来る観光客が1年間に捨てるゴミの量は、ゴミ箱に捨てられるもの以外に百トンを超えている ・ゴミ捨て場(ゴミの収集場)のあり方が気になっている。単純におもりのついた網があるだけで、それ自体もそうだが、ゴミを捨てに行ったときの自分の姿と格好が恥ずかしいときがある。あまりいい風景とはいえない(第1回) ・まず、道路の中央分離帯に捨てられている空き缶の問題。罰則を含めて考えるべき(第1回)。 ・見るたびに悲しくなるのがゴミやタバコの投げ捨て、景観を気にしない人たちの心が悲しい。(第1回)

意見	市民・事業者・行政の役割
グリーンベルトを拠点とし、小公園、街路樹、防風林、住宅のみどり等をネットワークしたい。また素材を重視しみどりと調和するまちにしたい ・グリーンベルトを拠点として、市街地のみどりに連続性を持たせ、みどりのネットワークづくりを行う ・小公園、街路樹、防風林、住宅のみどりもネットワークの役割を担う ・みどりや自然に調和したまちづくりを考えるなら、色ではなくて、素材を重視するべき(第1回)	
季節感を楽しめる樹種を選定し、場所を整備してほしい ・春の新緑、夏のみどり、秋の紅葉、冬の常緑樹等季節感を楽しめる樹種を選定と場所の整備	季節感について、市民が樹種のアイデアをだします ・市民が樹種についてのアイデアをだす
遊歩道、鳥かご等の整備により市民の利用を図ってほしい ・林内に遊歩道、鳥かご等を整備し市民の利用を図る	
市街地と青葉公園を結ぶルートは、沿道の美化とサイン計画の充実を図ってほしい ・市街地と青葉公園を結ぶルートの緑化 ・市街地と青葉公園を結ぶルート沿道の美化(美観を損ねている施設等の整理) ・サイン計画の充実	青葉公園は、市民がイメージを検討し、行政が整備を行い、市民・事業者・行政が協力して植樹など維持管理を行います ・市民によるイメージの検討 ・行政によるハード整備 ・市民による維持、管理 ・市民・事業者・行政の協働作業による植樹 ・市民・事業者による維持、管理
既存の展望台を生かし、自然にやさしい展望台とします ・既存の展望台を整備、活用する ・自然にやさしい展望台を整備する	自然を壊さない展望台のあり方を検討します ・自然を壊さない展望台のあり方の検討
ゴミ問題について、市民・観光客のモラルの向上が重要です ・市民モラル、観光客のモラル向上 ・モラル向上のための教育、啓発の場の充実を	景観形成に対する市民意識の啓発を図ります ・景観形成に対する市民意識の向上 ・行政は、普及啓発事業の推進

ちとせ都市景観市民会議の検討内容(その3) 拠点の景観

項目	要素	望ましい景観をつくるために(まとめ)	現況と課題
2 拠点の景観	グリーンベルト	2-1. グリーンベルト (広場、緑地) グリーンベルトは土や芝生が少なく無機質で人工物が多すぎます。 土、芝生を増やして、安心して子どもを遊ばせたい。また冬は歩くスキー等を楽しみたい。 行政で緑化整備に助成し、市民が管理、支援者の募集を行います。	グリーンベルトは土や芝生が少なく無機質で人工物が多すぎます ・芝生が少ない ・土の面が少なく無機質 ・人工物が多すぎる
		(明るさ) グリーンベルトは照明に工夫がなく夜が暗いです。 スポット照明、間接照明、照明イベント等で夜も明るいイメージとしてほしい。 専門家によりライトアップ計画を作成し、市民はイベント等へ協賛します。	グリーンベルトは照明に工夫がなく夜が暗いです ・夜が暗い ・照明に工夫がない
		(使い勝手) グリーンベルトは、商店街との連動、市民の憩いの場としての活用、冬期間の活用がなく、利用しづらい状況にあります。 市民は管理、清掃など積極的に参加します。	グリーンベルトは、商店街との連動、市民の憩いの場としての活用、冬期間の活用がなく、利用しづらい状況にあります ・商店街との連動がない ・何となく入りにくい ・冬期間利用されていない ・市民の憩いの場としての工夫がない ・市民の憩いの場にはなっていない ・利用しづらい
		(公園としての機能) グリーンベルトは段差や構造物が多い状況にあります。 人工物をできるだけ撤去し広いスペースをつくり、使い勝手を良くしてほしい。	グリーンベルトは段差や構造物が多い状況にあります ・存在意義が不明確 ・床の段差が多すぎる ・構造物が多い
		(駐車場) 地下駐車場の機能を高める。 市民は積極利用を図り、行政は駐車場の無料化を検討してほしい。	地下駐車場は機能していません ・地下駐車場が機能していない
サーモンパーク	2-2. サーモンパーク サーモンパークは、市民が日常的に訪れず、リピーターが来ない単なる見学施設になっています。 市民参加のお祭り、サケに関連したイベントなど、地元の人間が楽しむ工夫をしてほしい。 市民がお祭りやイベントを企画提案します。	サーモンパークは、市民が日常的に訪れず、リピーターが来ない単なる見学施設になっています ・周辺施設との調和 ・殺風景な駐車場 ・屋外の使い勝手 ・単なる見学施設 ・リピーターが来ない ・市民が日常的に訪れない	

意見	市民・事業者・行政の役割
土、芝生を増やして、安心して子どもを遊ばせたい。また冬は歩くスキー等を楽しみたい ・安心して子どもを遊ばせることのできる芝生広場がほしい ・無機質な舗装面を少なくし、土の感触を楽しみたい ・冬期間は歩くスキーが楽しめる広場を設ける	行政で緑化整備に助成し、市民が管理、支援者の募集を行います ・行政による緑化整備に対する助成 ・市民による緑地の管理、支援者の募集
スポット照明、間接照明、照明イベント等で、夜も明るいイメージとしてほしい ・スポット照明、間接照明等、夜間の演出がほしい ・夜も安心して利用できるよう、明るいイメージにしたい ・期間を限定した照明イベントの開催	専門家によりライトアップ計画を作成し、市民はイベント等へ協賛します ・行政による照明デザインの専門家によるライトアップ計画の作成 ・市民によるライトアップイベント等への協賛
スポット照明、間接照明、照明イベント等で夜も明るいイメージとしてほしい ・スポット照明、間接照明等、夜間の演出がほしい ・夜も安心して利用できるよう、明るいイメージにしたい ・期間を限定した照明イベントの開催	スポット照明、間接照明、照明イベント等で夜も明るいイメージとしてほしい ・スポット照明、間接照明等、夜間の演出がほしい ・夜も安心して利用できるよう、明るいイメージにしたい ・期間を限定した照明イベントの開催
人工物をできるだけ撤去し広いスペースをつくり、使い勝手を良くしてほしい ・イベント、散歩、休憩、修景等の使い勝手の明確化 ・子どもを安心して遊ばせられる工夫がほしい(床の凹凸の解消) ・人工物を極力撤去してほしい ・広々とした芝生スペースがほしい	
地下駐車場は無料化してほしい ・地下駐車場は商店街と連動して無料化すべき	市民は積極利用を図り、行政は駐車場の無料化を検討してほしい ・行政による無料化の検討 ・市民による積極利用(特典がほしい)
市民参加のお祭り、サケに関連したイベントなど、地元の人間が楽しむ工夫をしてほしい ・イベント開催のための広場がほしい ・殺風景な駐車場の緑化 ・食を楽しめる空間の整備 ・市民参加のお祭り、イベントの開催 ・サケに関連した食の提供 ・地元の人間が楽しむ工夫づくり	市民がお祭りやイベントを企画提案します ・行政による緑化空間の整備、周辺用地の獲得 ・市民による地元商店街によるお祭り、イベントの企画提案

ちとせ都市景観市民会議の検討内容(その4) 拠点の景観

項目	要素	望ましい景観をつくるために(まとめ)	現況と課題
2. 拠点の景観	千歳駅	2-3. 千歳駅前 (駅前広場) 駅前は、人が集まり、休憩するスペースがありません。 駅前に千歳らしい休憩空間、広場がほしい。 市民が整備イメージを検討し、行政が市民が活用できる仕組みを考えます。	駅前は、人が集まり、休憩するスペースがありません ・人が集まる場所がない ・待ちあわせ場所がない ・休憩スペースがない ・憩いの場所がない ・広場がない
		(シンボル性、ちとせらしさ) 駅前は、千歳らしいシンボル性、人が集まる求心性がありません。 千歳の顔としてのシンボル性を持たせてほしい。 市民が行政へ提案します。	駅前は、千歳らしいシンボル性、人が集まる求心性がありません ・人が集まる求心性がない ・駅前のシンボル性に欠ける ・千歳らしさを感じさせる演出がされていない ・千歳らしさが感じられない
		(駐車スペース、緑地空間等) 駅前は、車の流れが悪く、殺風景でみどりが少ない状況にあります。 千歳らしい自然景観の要素を導入し、緑化した駐車スペース、広場、小公園を整備し、駅前機能を充実してほしい。 市民、行政、JRが協力して計画づくりを行います。	駅前は、車の流れが悪く、殺風景でみどりが少ない状況にあります ・車の流れが悪い ・殺風景でみどりが少ない
		(案内性) 駅前は、バスターミナルもなく、市街地への案内が不足しています。 交通機能を充実するとともに、案内サインを整備してほしい。 行政でサイン計画を検討してほしい。	駅前は、バスターミナルもなく、市街地への案内が不足しています ・市街地への案内が不足 ・バスターミナルがない ・案内性に欠ける
中心商店街	2-4. 中心商店街 商店街では、交流の場がなくなり、魅力や個性が不足しています。 商店街の顔、中心核として、市民の憩い・交流の場を整備するとともに、商店街としての機能を充実してほしい。 行政は、交流の場を整備し、店主は自らの問題として商店街のビジョンづくりを行います。	商店街では、交流の場がなくなり、魅力や個性が不足しています ・憩いの広場の復活を ・交流の場がなくなった ・個店の魅力不足 ・人を引きつける顔不足 ・個性不足	

意見	市民・事業者・行政の役割
<p>駅前に千歳らしい休憩空間、広場がほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まるイベント、待ち合わせ、休憩空間がほしい ・千歳らしい空、みどりを感ぜられる広場が必要 ・例えばカフェテラス等の半屋外的な休憩広場がほしい 	<p>市民が整備イメージを検討し、市民と行政が活用できる仕組みを考えます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政による市民が活用できる仕組みづくり ・市民による整備イメージの検討
<p>千歳の顔としてのシンボル性を持たせてほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千歳の顔としてのシンボル性がほしい 	<p>市民が行政へ提案します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民による行政への提案
<p>千歳らしい自然景観の要素を導入し、緑化した駐車スペース、広場、小公園を整備し、駅前機能を充実してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化した駐車スペースや広場、小公園が必要 ・千歳らしい自然景観の要素を導入した空間整備が必要 ・駅前機能の充実を 	<p>市民、行政、JRが協力して計画づくりを行います</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民、行政、JRの協力によるプランづくり
<p>交通機能を充実するとともに、案内サインを整備してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能的でわかりやすい交通ターミナルの整備 ・千歳市内や周辺を案内するサイン類が必要 ・案内サインの整備 ・駅西口と東口との連絡ルートの整備が必要 	<p>行政でサイン計画を検討してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政によるサイン計画の作成
<p>商店街の顔、中心核として、市民の憩い・交流の場を整備するとともに、商店街としての機能を充実してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の顔として、市民の憩い・交流の場の整備、復活が望まれる ・エスプラザの活用を視野に入れた検討が必要 ・統一的なデザインの検討 ・商店街に活気を与える中心核(広場等)の整備 ・商店街としての機能の充実 	<p>行政は、交流の場を整備し、店主は自らの問題として商店街のビジョンづくりを行います</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政による交流の場の整備 ・市民(店主)自らの問題としてのビジョンづくり

ちとせ都市景観市民会議の検討内容(その5) まちなみの景観

項目	要素	望ましい景観をつくるために(まとめ)	現況と課題
3. まちなみの景観	千歳駅	3-1. 千歳駅 千歳駅前は寂しくなるとかしたい。	千歳駅前は寂しくなるとかしたい ・気になるといえばJR千歳駅の駅前、千歳市の入り口として、あれだけのスペースがあるのだから何とかしたい。何か寂しいし、何か変だし(第1回)
		3-2. 道路・歩道 千歳市の道路・歩道は、車道との段差が大きく、狭く歩きにくい状況にあります。また、機能的すぎて魅力に欠けるものがあります。 市民からお願いし、行政に整備を検討してもらい、歩道と車道の段差解消、広く歩きやすい人にやさしい道路を整備するとともに、休んだり集ったりするスペースをつくってほしい。	千歳市の道路・歩道は、車道との段差が大きく、狭く歩きにくい状況にあります。また、機能的すぎて魅力に欠けるものがあります ・歩いて楽しい歩道がない ・歩行者と車両の不共存 ・歩、車道の段差が大きい ・歩いていてわかりにくい ・歩道が狭く歩きにくい ・あまりに機能的すぎる ・歩いてみたくならない ・歩行者を大切にしていない ・最近の道路はまっすぐすぎるような気がする 多少曲がりくねっていても風景に沿った道が造られれば良いと思う(第1回)
	まちなみ	3-3. 街路樹 街路樹は樹種選別にコンセプトがなく、選定されすぎです。また落ち葉の管理が大変です。 行政が市民理解の普及をし、市民が樹種の提案をするなど、樹種の選定に市民の声を取り入れ、通りごとにテーマを持たせたい。	街路樹は樹種選別にコンセプトがなく、選定されすぎです。また落ち葉の管理が大変です ・樹種選別にコンセプト不足 ・剪定されすぎている ・剪定されすぎでかわいそう ・落ち葉の管理が大変 ・車両の運転に支障をきたす ・駅前通のプラタナスは大木になる可能性がある ・街路樹が気になる。狭い道路から広い道路へ出る交差点などでは、街路樹が邪魔で車が見えないため危険を感じることもある(第1回) ・街路樹の葉っぱを剪定してしまうのも悲しい。(第1回) ・支笏湖へ行く道も、2階建てバスが通るからと木が切られてしまった。千歳が千歳らしくあるために、守るべきこと、我慢することを市民が共通認識として持つ必要があるのでは(第1回)
		3-4. 街路灯 街路灯はデザインが不統一でまちなみが雑然としています。 市民からイメージを提案し、街路灯、信号機、ガードレール等に共通のイメージをつくりたい。また電線を地中化したい。	街路灯はデザインが不統一でまちなみが雑然としています ・街並みが雑然とする ・街路灯との不バランス ・歩行者にとって邪魔 ・無計画さ、乱雑さ ・デザインの不統一 ・電球色の不統一

意見	市民・事業者・行政の役割
歩道と車道の段差解消、広く歩きやすい人にやさしい道路を整備するとともに、休んだり集ったりするスペースをつくってほしい ・歩道と車道のレベル差を小さくする ・歩道の切り下げによる凹凸を少なくする ・人が休めるスペース、気軽に集えるスペースをつくる ・車道幅員を狭めても、歩きやすく広い歩道を整備する ・歩行者にやさしい歩道整備を行う	市民からお願いし、行政に整備を検討してもらいます ・行政によるインフラ整備の検討 ・市民から行政へのお願い
街路樹は樹種の選定に市民の声を取り入れ、通りごとにテーマを持たせたい ・通りごとに「テーマ」を持った街路樹を植える ・害が大きい街路樹は移植、もしくはなくす ・自由に伸びることのできる環境を整備する(無柱化) ・樹種の選択には多くの市民の声を取り入れる	行政が市民理解の普及をし、市民が樹種の提案をします ・市民による樹種と「テーマ」の検討 ・街路樹のあり方、役割の周知 ・行政による市民理解の普及 ・市民が行政に対して樹種の提案をする
街路灯、信号機、ガードレール等に共通のイメージをつくりたい。また電線類を地中化したい ・電線を埋設し、無柱化したモデル地域をつくる ・街路灯、信号機、標識類を共通の支柱にまとめる ・街路灯、信号機、ガードレール等に共通のイメージを持たせる(個性がでるなら全市で統一しなくてもよい) ・電線の埋設が困難な場合、裏通りへ移設	市民からイメージを提案し、行政が整備します ・市民によるデザインイメージの検討 ・行政によるインフラ整備 ・市民から行政へのお願い

ちとせ都市景観市民会議の検討内容(その6) まちなみの景観		望ましい景観をつくるために(まとめ)	現状と課題
3. まちなみの景観	中心商店街	3-5. 空き店舗、アーケード 商店街、アーケードは空き店舗が多く、イメージが暗いため、活気が感じられません。 グリーンベルトや千歳川と連携して、開放感、季節感を感じられるようにしたい。 また管理・運営の見直しが必要です。 個店ではなくブロック(街区)単位で店づくりを検討します。 また商業者と消費者が話しあいの場をつくり、公的機関も協力します。	商店街、アーケードは空き店舗が多く、イメージが暗いため、活気が感じられません ・まちなみがつながりを欠く ・シャッターが降りたまま ・活気が感じられない ・まちなかに人がいない ・開放感がない ・季節感を感じられない ・日中でも暗い ・日中でも暗く寒々しい ・イメージが暗い(陰気) ・悲しいのは、まちなかの空き店舗。朽ち果てていて、テントは剥がれていて、看板は壊れていて、建築現場の仮囲いの絵を描くように、締切りのシャッターにも何らかの工夫があれば良いと思う(第1回) ・商店街のアーケードは、暗くて寂しい感じがする。暗いイメージをなくすることが商店街の活性化につながっていく(第1回) ・商店街のなかにおいて、商店街を考えると、自然につくられたものでなければダメダと感じている。こじつけや無理なアイデンティティで変なものをつくってはいけないと思う(第1回)
		3-6. 看板、サイン 看板、サイン類は統一感・ルールがなく、わかりにくい状況にあります。 イメージカラー、サケのモニュメントなどやまちのコンセプトを決め、まちなみのコンセプトをつくってほしい。 デザインコンクールなど市民によるコンセプトの検討を行います。	看板、サイン類は統一感・ルールがなく、わかりにくい状況にあります ・色があふれすぎている ・統一感、ルールがない ・市街地内がわかりにくい ・イメージカラーがない ・コンセプト(基準)がない ・公共施設に関する動線や誘導計画に工夫が感じられない。例えば、ここに行ったら があるとか、大きな意味での決めごとが感じられない(第1回)
	駐車場	3-7. 駐車場 まちなかは駐車場が少なく、夜間の利用もできなく、違法駐車が多い状況にあります。 駐車場を整備し、違法駐車を取り締まりを強化してほしい。 市民モラルの向上を図るとともに使いやすい駐車場の検討をします。	まちなかは駐車場が少なく、夜間の利用もできなく、違法駐車が多い状況にあります ・中心街の違法駐車 ・既存駐車場の利用勝手が悪い(特に地下駐車場) ・夜間の利用ができない ・まちなかに駐車場が少ない ・既存駐車場が少ない
	街路樹	3-8. まちなかのみどり 仲の橋通など商店街にみどりが少なく季節感を感じさせる樹木が少ない状況にあります。 商店街や公園に四季折々の花壇、プランターの整備をしてほしい。 行政で花壇整備をし、市民が管理をします	仲の橋通など商店街にみどりが少なく季節感を感じさせる樹木が少ない状況にあります ・商店街にみどりが少ない(特に仲の橋通) ・季節感を感じさせる樹木が少ない ・まちなみ、家なみが、例えば東京の三鷹市のように、道路~グリーンベルト~生け垣~家という、ゆとりを感じさせるようなつくりにはなっていない。道路が狭いせいもあるのだろうが、ゆとりが感じられない(第1回)

意見	市民・事業者・行政の役割
<p>空き店舗、アーケードはグリーンベルトや千歳川と連携して、開放感、季節感を感じられるようにしたい。 また管理・運営の見直しが必要です。 ・空き店舗、アーケード単独ではなく、グリーンベルト、千歳川などとトータルに考え、活用できるようにしたい ・開放感、季節感を感じられる工夫が必要 ・空き店舗、アーケードの維持、管理、運営方法の見直し ・アーケードの良さ(ねらい)を生かす使い方を考える</p>	<p>個店ではなくブロック(街区)単位で店づくりを検討します。また、商業者と消費者が話しあいの場をつくり、公的機関も協力します ・商店主個人ではなく、商店街のブロック単位で店づくりを検討する ・公的機関が、個店の後継者問題に取り組む ・商業者と消費者の話しあいの場づくり</p>
<p>イメージカラー、サケのモニュメントなどや、まちのコンセプトを決め、まちなみのコンセプトをつくってほしい ・千歳市としてのイメージカラーを決める ・まちなみづくりのコンセプトをつくる ・全市的な公共サインシステムを導入する(わかりやすく、インターナショナルな表示) ・千歳は空港のまちなかに、まちの中に空港のイメージを伝えるものが何もない。例えば、空港へ向かう道路には飛行機のモニュメントを並べるとか、駅前から、サケの頭のモニュメントをたどっていけば、支笏湖とか(第1回) ・色々な国を見てきたが、空港へ行く道路に目印やモニュメントがあるのは普通のこと。サンパウロの道路にも飛行機の形をしたモニュメントはたくさんあります(第1回) ・モニュメント以外にもインフォメーションは大切で、国際的なまちであることを考えると、英語やその他の外国語による沿道のインフォメーションは整備すべき</p>	<p>デザインコンクールなど市民によるコンセプトの検討を行います ・市民による公募型デザインコンクールの実施 ・市民によるまちづくりコンセプトの検討</p>
<p>駐車場を整備し、違法駐車を取り締まりを強化してほしい ・違法駐車を取り締まりの強化 ・利用しやすい駐車場の整備、工夫 ・地下駐車場とニューサンロードの連絡性の改善 ・無料駐車場を増やす(空き地、空き店舗利用)</p>	<p>市民モラルの向上を図るとともに使いやすい駐車場の検討をします ・市民モラルの向上 ・使いやすい駐車場とは?の検討</p>
<p>商店街や公園に四季折々の花壇、プランターの整備をしてほしい。 ・四季それぞれの花壇、プランターの整備 ・商店街に四季折々の花壇、プランターの整備 ・桜堤、白樺公園、ドングリ公園、花の公園等樹種を統一した公園の整備を</p>	<p>行政で花壇整備をし、市民が管理をします ・市民ボランティアによる花の管理 ・行政による花壇整備</p>

ちとせ都市景観市民会議の検討内容(その7) みちの景観

項目	要素	望ましい景観をつくるために(まとめ)	現況と課題
4 みちの 景観	道路	4-1. 空港アクセス線 空港アクセス線は、大型看板がめだち、自然とも不調和、国際的なデザイン、空港のまちとしてのアピールが必要です。 自然と調和した空港のまちにふさわしい統一的なサイン整備をしてほしい。 市民が参加し、サイン計画、条例等を作成してほしい。	空港アクセス線は、大型看板がめだち、自然とも不調和、国際的なデザイン、空港のまちとしてのアピールが必要です ・国際的なデザインが必要 ・大型看板がめだちすぎる ・自然との不調和 ・設置場所がバラバラ ・国際感覚の不足 ・空港のまちとしてのアピール不足 ・札幌の空港とされている ・北海道の顔
		4-2. 中央大通 中央大通は、通過交通が多いにもかかわらず、右左折帯が未整備、また看板、広告物がめだち、街路樹が未整備で季節感が感じられません。 安全性や渋滞解消に努めるとともに、緑化、街路樹整備により、空の見え方を演出してほしい。	中央大通は、通過交通が多いにもかかわらず、右左折帯が未整備、また看板、広告物がめだち、街路樹が未整備で季節感が感じられません ・通過交通が多すぎる ・右左折帯が未整備 ・看板、広告物がめだち ・街路樹が整備されていない ・季節感が感じられない ・空が見えない
		4-3. 国道337号(サーモン通) サーモン通は、電柱が多く、街路樹がめだたず、道路の個性が感じられません。 安全性や渋滞解消に努めるとともに、緑化や景観阻害要素の解消をしてほしい。	サーモン通は、電柱が多く、街路樹がめだたず、道路の個性が感じられません ・道路の個性が感じられない ・電柱、電線が多すぎる ・ゴチャゴチャした景観 ・街路樹がめだたない
		4-4. 駅大通や仲の橋通 商店街の通りは、公共施設との連続性に欠け、案内も少ない状況にあります。 商店街との案内システムを整備し、公共施設へのネットワークの整備、演出をしてほしい。 市民がアイデアを提供し、行政でサイン計画を作成してほしい。	駅大通や仲の橋通は、公共施設との連続性に欠け、案内も少ない状況にあります ・駅前、公共施設等との連続性に欠ける ・商店街から周辺施設への案内、周辺施設から商店街への案内ができていない
		4-5. 市内の道路全般に関して 市内の道路は全般的に、電柱・電線が多く、うるおいが感じられません。またユニバーサルデザイン、バリアフリーを意識した整備がされていません。 できることから無柱化、緑化を行うとともに、安全で使いやすい道路にしてほしい。 市民は意識づくり、優先順位の検討を行い、行政で事業を推進します。	市内の道路は全般的に、電柱・電線が多くうるおいが感じられません。またユニバーサルデザイン、バリアフリーを意識した整備がされていません ・どこへ行っても電柱、電線が多すぎる ・ユニバーサルデザインやバリアフリーを意識した道路構造になっていない ・うるおいが感じられない

意見	市民・事業者・行政の役割
自然と調和した空港のまちにふさわしい統一的なサイン整備をしてほしい ・空港のまちにふさわしい、国際感覚に富んだサイン整備を行う ・統一的なサインを市街地にも整備する ・規格、素材、設置場所を定め、自然との調和を図る ・設置可能区間、設置禁止区間を定める ・大型広告物、看板類の整理 ・千歳を意識させる観光ガイド、案内システムづくり	市民が参加し、サイン計画、条例等を作成します ・行政による統一サイン計画の作成、条例等の作成 ・市民によるサイン計画の作成への参加
安全性や渋滞解消に努めるとともに、緑化、街路樹整備により、空の見え方を演出してほしい ・景観というよりも、安全性や渋滞解消を考慮した道路構造としてほしい ・中央分離帯を設けて緑化する ・季節感のある街路樹等による沿道の演出を ・空の見え方を考慮した道路景観の検討を行う(電線、看板、街路樹、建物のスカイラインの統一等)	
安全性や渋滞解消に努めるとともに、緑化や景観阻害要素の解消をしてほしい ・景観というよりも、安全性や渋滞解消を考慮した道路構造としてほしい ・中央分離帯を設けて緑化する ・電柱、電線をなくし、すっきりとした景観整備を行う	
商店街との案内システムを整備し、公共施設へのネットワークの整備、演出をしてほしい ・例えば街路樹をたどると、図書館へ通じる等の演出、整備がほしい ・商店街と周辺を結ぶ案内システムを整備する	市民がアイデアを提供し、行政でサイン計画を作成します ・市民によるアイデアの提供 ・行政による統一サイン計画の作成
できることから無柱化、緑化を行うとともに、安全で使いやすい道路にしてほしい ・可能な道路から順に無柱化していく ・高齢者から子どもまで、安全で使いやすい道路へ改良していく ・花、緑、街路樹等によるうるおいのある美しい街路づくり	市民は意識づくり、優先順位の検討を行い、行政で事業を推進します ・行政による事業の推進 ・市民による優先順位の検討、意識づくり

4. 市民アンケート調査のまとめ

(1) 千歳市の景観に関するアンケート調査 (実施期間：平成9年2月20日～平成9年3月21日)	
1-1. 千歳の特色について (45選択肢から複数選択、上位10項目)	
新千歳空港 湖、支笏湖 インディアン水車 ハスカップ 川、千歳川	おいしい水 自衛隊駐屯地 サケ 交通の要衝 豊かな自然
1-2. 景観を代表する場所または建物 (89選択肢から複数選択、上位10項目)	
支笏湖 新千歳空港 インディアン水車 新千歳空港ターミナル 樽前山の眺望	千歳川 苔の洞門 青葉公園 インディアン水車公園 サケのふるさと館
1-3. 景観上好ましくないと感じているところ (89選択肢から複数選択、上位11項目)	
NEWSビル 店舗 千歳駅 千歳駅西口 おはよう橋	千歳駅東口広場 富丘団地 グリーンベルト 鉄道高架 北信濃自衛隊官舎 サケのふるさと館
1-4. このまちがどうすればもっと良くなるのかお尋ねします (複数選択)	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然を保全し生かす ・湖や川など、水辺と親しめる場所をつくる ・都心部の駐車場の整備を進める ・美しいまちづくり意識や美化マナーを育てるため、子供たちに対する質の高い環境教育を推進する ・電線、電話線などを地中に埋め、電柱をなくす ・市民への啓蒙活動を推進し、公共物に対するモラルの向上を図る ・花や緑を生かした植樹帯や、街路樹を増やす ・花や木の名所となる、大規模な庭園をつくる ・建物の色彩、デザイン、高さなどをそろえたり、周囲の環境と調和させる ・ライトアップなど、夜間の景観も配慮する ・看板、ネオンなど屋外広告物の形や色彩をもっと規制する ・条例、協定など、まちづくりのルールをつくる ・モニュメントや彫刻などを配置し、うるおいのあるまちなみにする ・学校等、公共施設の景観を向上する ・歴史的建造物や、記念碑的施設を整備、保存する ・公共建築物のデザインなどに、市民参加の機会をもっと増やす ・歩行者、車両用案内サインのデザインアップを図る 	
1-5. 自由意見より	
<p>a 自然環境に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵まれた自然を生かす ・自然を残しながら、自然ともっとふれあえる施設・公園の整備 <p>b 川、湖、沼に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千歳川をまちなみや景観に生かす ・川や水辺に親しめる場所をつくる <p>c 公園、緑地、街路樹に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園が多く緑も多い環境は評価するが、質的な水準は高くはない ・街路樹の景観づくりを実施する ・青葉公園の自然を守りつつ、もっと明るく利用しやすくしたい 	<p>e 中心市街地に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニューサンロードの改善 ・路上駐車、違法駐車が多い ・グリーンベルトの利用方法 <p>f 千歳駅周辺に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千歳駅周辺は魅力がなく印象も薄い ・駅前の景観の悪さに閉口してしまふ 市のイメージがこの景観で決まってしまう

(2) 千歳市民まちづくりアンケート(千歳市新長期総合計画策定基礎調査) (実施期間：平成10年9月1日～平成10年9月14日)			
2-1. まちづくりのキーワードについて (複数選択)			
<ul style="list-style-type: none"> 自然の豊かさ 安心・安全 心の豊かさ 経済的な豊かさ 活力・賑わい 	<ul style="list-style-type: none"> 健康 快適さ 教育・文化 生きがい 便利さ 	<ul style="list-style-type: none"> やさしさ ふれあい 発展 うるおい 創意・挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> 交流 楽しさ 美しさ 連帯・協働 その他
2-2. 将来の都市像について (複数選択)			
<ul style="list-style-type: none"> 誰もが快適に暮らせる福祉都市 豊かな自然につつまれた環境都市 空港を核に開かれた国際交流都市 教育施設など整備された文教都市 企業誘致など活気ある工業都市 		<ul style="list-style-type: none"> 観光施設などが整備された観光都市 その他 	
2-3. 中心市街地活性化に重要なこと (複数選択)			
<ul style="list-style-type: none"> 道路の拡張など車の流れを良くする 景観を良くする バス路線を利用しやすくする イベント広場や小さな公園の整備 建物を大型・集合化するための再開発 		<ul style="list-style-type: none"> 公的施設を配置する 娯楽施設を多くする 商店や飲食店を多くする マンションなど住宅を建設する 	
重要その他の回答		自助努力、意識改革	
<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の確保、整備 活性化の必要はない 無料駐車場の確保、整備 ニューサンロードの再開発 		<ul style="list-style-type: none"> 若者向けの店舗づくり 店の個性を出す、店のPR 品質の向上 	
2-4. 参加したいまちづくり活動 (複数選択)			
<ul style="list-style-type: none"> リサイクル活動や省資源活動 明るいまちづくり活動 花いっぱい活動や清掃活動 福祉ボランティア活動 自然保護、愛護活動 交通安全、防災、防犯活動 健康なまちづくり活動 イベント活動 児童、青少年の育成活動 国内外との交流活動 歴史、文化活動 まちづくり推進役 			
2-5. 自由回答の中から景観に関する意見			
<ul style="list-style-type: none"> 電線や電話線などを地中埋設する まちの景観をもっと良くする 市内にもっと花を植える 市街地の形成は、自然を生かして実施すべき 花いっぱい運動の一環として各戸(必要家庭)に花苗を配布する 樹木の剪定の充実 色のコンセプトを考えて、統一感を持たせた住宅街と特徴ある商店街整備 木や花のプレゼントやイベントなどによる個々の家の美観整備 市街地は樹木が少ないため、市街地の緑化対策に取り組む 街路樹の選択には、もう少し住民の意見を取り入れる 茶色の電柱は美観を損ねている 道路の両側に北海道らしい樹木を植え 通りとなるようにする 街路灯を美しく、個性のあるものにする 			

<p>(3) 千歳市都市計画マスタープラン市民意識調査 (実施期間：平成8年2月9日～平成8年2月22日)</p>			
<p>3-1. 商業地について 良い点</p> <table border="0"> <tr> <td>身近なスーパー 景観への配慮 幹線道路沿いの大型店 住宅地内の商店や飲食店 広場がありゆっくり買い物できる</td> <td>JR千歳駅前の活気ある雰囲気 交通利便性の高さ 幹線道路から都心に入りやすい 賑わいある都心部の商店街 新千歳空港に近い</td> </tr> </table>		身近なスーパー 景観への配慮 幹線道路沿いの大型店 住宅地内の商店や飲食店 広場がありゆっくり買い物できる	JR千歳駅前の活気ある雰囲気 交通利便性の高さ 幹線道路から都心に入りやすい 賑わいある都心部の商店街 新千歳空港に近い
身近なスーパー 景観への配慮 幹線道路沿いの大型店 住宅地内の商店や飲食店 広場がありゆっくり買い物できる	JR千歳駅前の活気ある雰囲気 交通利便性の高さ 幹線道路から都心に入りやすい 賑わいある都心部の商店街 新千歳空港に近い		
<p>商業地の良い点、良いと思う具体的な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低層住宅主体で広々している ・グリッド状の道路構成がわかりやすい ・水道の整備が進んでいる ・公園が身近で、自然と調和した住宅地 ・空港、JRなどの広域交通施設に恵まれている ・都心の商業地と住宅地が近く、便利 ・市街地周辺の川や森など自然資源が豊富である 			
<p>3-2. 商業地について 悪い点</p> <table border="0"> <tr> <td>活気がない 路上駐車が 多 い 駐 車 場 が 利 用 し に く い 適 当 な 店 が な い 色 や 形 の 調 和 が な い</td> <td>身近な店がない オープンスペースがない 都心に出なければならず不便 看板類が派手</td> </tr> </table>		活気がない 路上駐車が 多 い 駐 車 場 が 利 用 し に く い 適 当 な 店 が な い 色 や 形 の 調 和 が な い	身近な店がない オープンスペースがない 都心に出なければならず不便 看板類が派手
活気がない 路上駐車が 多 い 駐 車 場 が 利 用 し に く い 適 当 な 店 が な い 色 や 形 の 調 和 が な い	身近な店がない オープンスペースがない 都心に出なければならず不便 看板類が派手		
<p>商業地の悪い点、悪いと思う具体的な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街に活気がない ・商店街にまとまりがない ・暗く、イメージが悪い ・全体に古く、みすぼらしい ・道路が狭くアクセス性が悪い ・看板、広告物に調和がなく乱雑な景観になっている ・駐車場が少なく利用しにくい ・商店に個性がなく、魅力を感じない ・品揃えが悪く、買いたい商品がない 			
<p>3-3. 自然環境について 良い点</p> <table border="0"> <tr> <td>支笏湖周辺の森林 市街地内の河川 市街地を囲む森林</td> <td>市街地の豊富なみどり 防風林などのみどり 農地や周囲の山</td> </tr> </table>		支笏湖周辺の森林 市街地内の河川 市街地を囲む森林	市街地の豊富なみどり 防風林などのみどり 農地や周囲の山
支笏湖周辺の森林 市街地内の河川 市街地を囲む森林	市街地の豊富なみどり 防風林などのみどり 農地や周囲の山		
<p>自然環境の良い点、良いと思う具体的な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地のそばに残された自然 ・市街地のなかに残っている自然 ・市街地の樹林、河川を生かした公園 ・季節感あふれるありのままの自然 ・自然豊かな国立公園や国有林 			
<p>3-4. 自然環境について 悪い点</p> <table border="0"> <tr> <td>街路樹が貧弱 季節感を感じない 鳥や昆虫が見られない</td> <td>農地との境目が曖昧 市街地周辺のみどりが見えない 鳥や昆虫がうるさい</td> </tr> </table>		街路樹が貧弱 季節感を感じない 鳥や昆虫が見られない	農地との境目が曖昧 市街地周辺のみどりが見えない 鳥や昆虫がうるさい
街路樹が貧弱 季節感を感じない 鳥や昆虫が見られない	農地との境目が曖昧 市街地周辺のみどりが見えない 鳥や昆虫がうるさい		
<p>自然環境の悪い点、悪いと思う具体的な場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地の自然が減少しており、みどりが少ないと感じる ・開発により貴重な自然が減少している ・街路樹や公園の管理が悪い ・市民が憩い、楽しめる場所が少ない ・人工物が環境を悪くしている ・開発が計画的に行われていない 			

第4章 景観形成の基本方針

第4章 景観形成の基本方針

1. 都市景観形成の基本理念

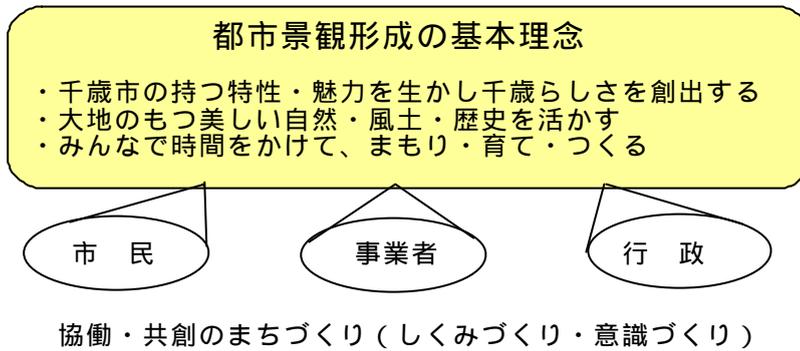
千歳市は、交通の要衝としての高い都市機能をもった国際交流都市である一方で、支笏湖に代表される雄大な自然景観や良好な農村景観を有しています。

また、郊外の住宅地や工業地では、都市計画に基づいて整然とした土地利用がなされ、緑あふれる美しいまちなみを形成しています。

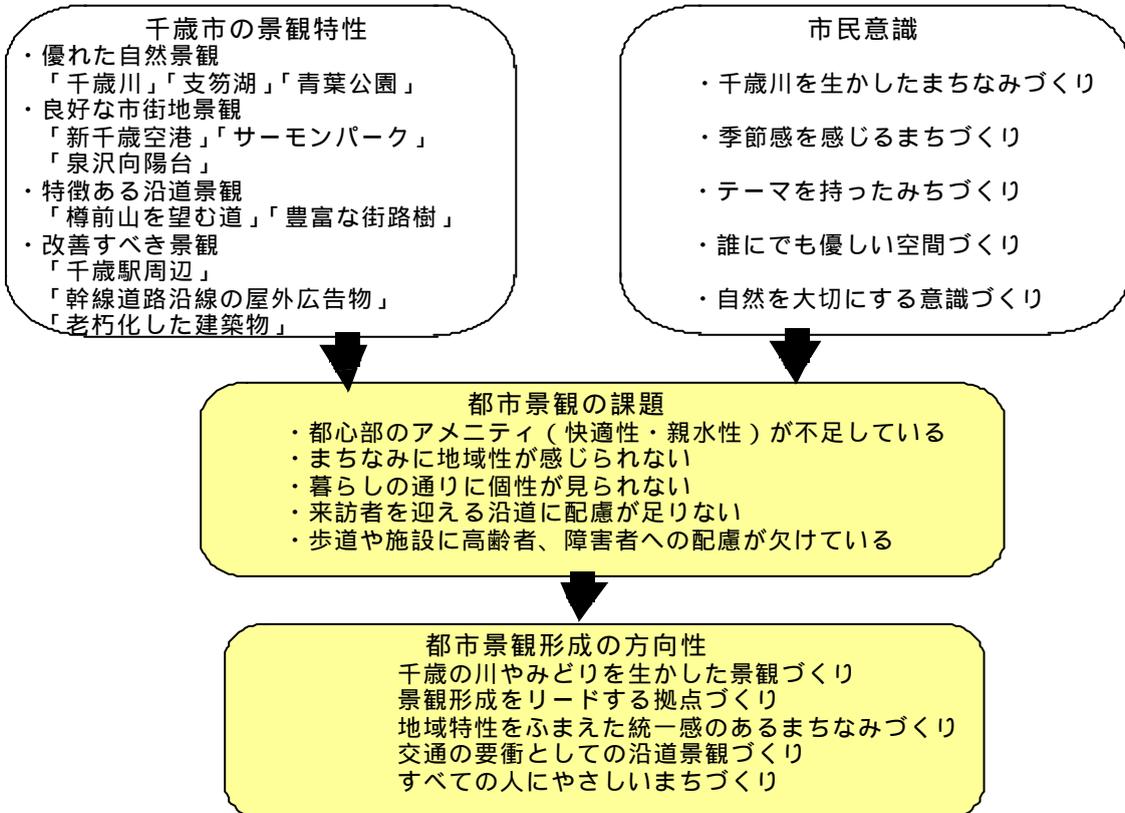
しかし、都心部では利便性や効率性を優先したハード面でのまちづくりを進める一方で、ソフト面での配慮が不足し、過度に剪定された木々や切り立った水辺の護岸などが要因となり、一部潤いややすらぎの感じられない都市景観となっています。

今後、私たちは、千歳市の貴重な財産である良好な自然景観、農村景観の保全に努めるとともに、人々の暮らしの基盤となる良好な都市景観を、市民・事業者・行政が協力しあいながら共通の意識のもとに、長い年月をかけて育み、将来の千歳市民へ受け継いでいく必要があります。

このことから、私たちは千歳市が持っている特性を生かし、市民・事業者・行政がみんなの力で、より美しく快適なまちなみをつくりあげていくための基本理念を定めます。



2. 都市景観形成の課題と方向性



3. 都市景観形成の目標

千歳市における総合的な課題や現況分析の結果などをふまえ、千歳市民とともにめざすべき都市景観形成の目標を以下のように定めます。

～ きれいな空とやわらかな水辺、
人にやさしく美しいまちなみをめざして ～

千歳市が、交通の要衝としてもちあわせてきた高い都市機能性と、郊外に保全されている支笏湖や千歳川、良好な農村景観などの美しい自然環境を、今後のまちづくりの中に生かし、より美しく快適なまちなみの形成を、千歳市民みんなの力で作りあげていくことを表現しています。

都市景観形成の目標を達成するために、千歳市の景観要素のグループ化から得られた4つの「景観」について、それぞれの景観形成の基本方針を定めます。

4つの「景観」の基本方針

水とみどりの景観	まちなみとの関わりを意識し、市民の身近な憩いの場として豊かで潤いのある景観づくりをめざします
拠点の景観	自然的要素を取り入れ、市民が日常的に集い、憩い、交流できるシンボル性の高い景観づくりをめざします
まちなみの景観	季節ごとの賑わい感と、通りごとの個性を感じながらやさしい歩行空間を楽しめるまちなみ景観づくりをめざします
みちの景観	北海道の空の玄関口である国際交流都市ちとせを意識したわかりやすく質の高い沿道景観づくりをめざします

【4つの景観を構成する要素】

水とみどりの景観・・・河川、緑地、街路樹など
 拠点の景観・・・駅、サーモンパーク、公共施設などの人が多く集まる場所
 まちなみの景観・・・商業地、住宅地、工業地など
 みちの景観・・・道路、サイン、広告物など

4. 都市景観形成の基本方針

千歳市がめざすべき都市景観形成の目標を達成するために、景観要素のグループ化で得られた4つの「景観」について、景観形成の基本方針とその推進策を掲げます。

水とみどりの景観	
基本方針	： まちなみとの関わりを意識し、市民の身近な憩いの場として豊かで潤いのある景観づくりをめざします

要素	景観特性	景観上の課題
川	<ul style="list-style-type: none"> 清流千歳川が市街地の中央部を貫流している 市街地での河川の護岸整備が進んでいる サーモンパークが千歳市を代表する観光拠点となっており、親水性に配慮した護岸整備がなされている 河川沿いの河畔林、緑地帯が、みどりの景観軸を形成している 	<ul style="list-style-type: none"> 千歳川とまちなみのつながりが薄い（まちなみが川に背を向けている） 市街地での護岸整備が進み、水辺の損失から千歳川の親水性が失われている 市民の日常生活において、河川やサーモンパークとの関わりが薄い 河川沿いの景観軸が、道路などにより分断され、景観上や活用上の連続性に欠けている
街路樹	<ul style="list-style-type: none"> 都市部の街路では、街路樹の整備が進み、比較的良好な沿道環境を形成している 	<ul style="list-style-type: none"> 主要な幹線道路では、狭小な幅員の歩道や電線類により、街路樹の育成が妨げられている
緑地	<ul style="list-style-type: none"> 青葉公園、青空公園、グリーンベルトなどに規模の大きな緑地が形成され、市民の憩いの場となっている 市街地や市街地の外縁部にまとまりのある防風保安林が保存されている 	<ul style="list-style-type: none"> 青葉公園や青空公園へ至る街路に対する統一的な景観整備が遅れている 防風保安林内に、休憩施設・遊具・散策路外灯などが十分に整備されていないため、地域住民の憩いの場として活用されていない

景観づくりの方針	景観形成推進策
<ul style="list-style-type: none"> 河川は、治水機能・安全性を確保しつつ、市民の身近な憩いの場として活用できるよう親水性に配慮する 橋やたもと空間は、川のシンボル性に配慮した演出を心掛ける 川に向けた土地利用を推進し、河畔敷きは十分なオープンスペースを確保する 快適な都市環境を演出するための、街路樹の保全・育成に努める 良好な市街地を形成する緑地の保全・活用を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 親水公園の整備 景観に配慮した護岸の整備 河畔敷き樹林の育成・保存に務める 主要な橋梁の修景 橋のたもと空間に、ポケットパークなどの整備 千歳川に顔を向けたまちづくりに対する市民の気運づくり 千歳川兩岸沿いの連続した歩行者空間（歩道など）の整備 電線類の地中化、共架による集合化など 建築物のセットバックなどによるオープンスペースの確保 広い歩行者空間（歩道など）の確保 既存の緑地・防風保安林の保全 防風保安林の公園的な利用 市民による緑化の推進

拠点の景観	
基本方針 : 自然的要素を取り入れ、市民が日常的に集い、憩い、交流できるシンボル性の高い景観づくりをめざします	

要素	景観特性	景観上の課題
駅	<ul style="list-style-type: none"> ・JR千歳駅周辺の土地利用が進んでいない ・JR千歳駅西口に隣接している中央大通の自動車交通量が多く、危険である ・JR千歳駅周辺の歩道が狭く、歩行者に対する交通基盤整備が不足している ・JR千歳駅周辺にみどりが少ない ・JR千歳駅東口の石油タンクが危険性が伴い、景観上も好ましくない 	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用地の存在、高度利用の不足から、駅前空間としてのシンボル性に欠ける ・交通量の多さや歩行空間の不足から、市民や駅利用者が安らげる場が少ない ・駅前景観の貧弱さが、市民や来訪者に対して、千歳市全体のイメージダウンを招いている ・観光地としての情報発信機能が少なく、利用者の低下を招いている
サーモンパーク	<ul style="list-style-type: none"> ・千歳市の代表的な観光拠点となっている ・周辺は、一般住宅や店舗が混在している 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に楽しめる施設やイベントが少なく千歳市民の利用が少ない ・サーモンパーク周辺の幹線道路やまちなみに統一感が乏しく、観光地としての演出に欠けている
新千歳空港	<ul style="list-style-type: none"> ・空港周辺には良好な自然景観が広がっている ・空港周辺は明確な土地利用区分がされ、比較的良好な住環境が形成されている ・機能的な交通網が形成されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・無秩序な屋外広告物が自然景観の眺望を阻害している ・サインに外国語等が併記されておらず、国際性に乏しい
公園・広場	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地では、計画的に公園が配置され、良好な住環境が形成されている ・都心部の公園が老朽化している 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園や広場への行き方がわかりにくい ・都心部での公園利用者が少なく、寂しい

景観づくりの方針	景観形成推進策
<ul style="list-style-type: none"> ・高度利用を図りつつ、駅利用者に対応した十分なオープンスペースを確保するよう努める ・街路樹の保全・育成など、緑化に努め、利用者に快適な空間を提供する ・出会いの場としての機能に配慮した演出を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度利用地区の活用 ・高齢者等の歩行者に配慮した、ユニバーサルな歩行空間の整備 ・電線類の地中化、共架による集合化など ・サインや情報提供施設の整備 ・モニュメント、修景施設の整備 ・沿道の花や街路樹による景観の演出
<ul style="list-style-type: none"> ・サーモンパーク周辺は、観光客と市民にとって憩いの場にふさわしい魅力的な沿道景観の形成に努める ・河川沿いに照明灯を配置するなど、夜間における景観形成に配慮する ・空港周辺は、来訪者の眺望に配慮し、過剰な大きさや華やかな色彩の屋外広告物の掲出は控える ・拠点は、来訪者にわかりやすい案内表示を行うなどの配慮に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・電線類の地中化、共架による集合化など ・沿道の花や街路樹による景観の演出 ・河川のライトアップ ・河川敷散策路の街灯整備 ・北海道屋外広告物条例の遵守・普及 ・新千歳空港アクセス沿道景観形成ガイドラインの遵守・普及 ・案内サインなどの設置（外国語などの併記）
<ul style="list-style-type: none"> ・公園・広場は、利用者に対し、常に快適な憩いの空間となるよう、良好な景観形成に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具施設などの適切な維持管理

まちなみの景観	
基本方針 : 季節ごとの賑わい感と、通りごとの個性を感じながら やさしい歩行空間を楽しめるまちなみ景観づくりをめざします	

要素	景観特性	景観上の課題
商業地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地地区の店舗の老朽化が進展している ・ 郊外部では、大型販売店を核とした新たな商業集積が形成されつつある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地地区の集客力の低下から、都心部での交流人口が減少し、かawaii性が薄れている ・ 都心の商業地では、半公共的空間の不足から修景スペースが少なく、ゆとりのない歩行空間が形成されている
住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郊外部では、良好な住環境を持つ新興住宅街が形成されている ・ 中心市街地地区の居住人口が減少しつつある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地および周辺地域では、宅内緑化の不足など、十分な環境形成空間が確保されていない
工業地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画に基づいた計画的な工業地が形成され、緑地などの緩衝帯を有した良好な工業団地が整備されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乱雑な資材置き場や錆びて放置されたままの外壁・柵などが、周囲の良好な景観を損ねる要因となっている
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画に基づき、明確な土地利用が進んでいる 	

景観づくりの方針	景観形成推進策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 通りごとの個性を演出し、魅力的で賑わいのある商店街を形成する ・ 建築物のセットバックなどにより、開放的で歩行者に優しい歩行空間を形成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街の看板類や意匠の統一 ・ 照明灯、歩道の舗装材のデザイン化 ・ 半公共的空間の緑化（市民による緑化の推進） ・ 地区計画、建築協定などの活用 ・ 電線類の地中化、共架による集合化など
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅地では、道路に向けた庭づくりや高い塀はさけるなど、開放的な住環境の形成に心掛ける ・ 中心市街地地区の住宅は、高度利用を図りつつ、適度なオープンスペースを設けるなど、ゆとりある居住空間の形成に心掛ける ・ 冬期間の排雪を考慮し、十分な敷地スペースを確保する ・ 地区レベルでの緑化や花壇づくりを推進する ・ 緩衝緑地帯の設置・保全など、周辺環境と調和したみどり豊かな工業地の形成をめざす 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区計画制度の活用 ・ 高度利用地区の活用 ・ 公開空地の確保 ・ 沿道の花や街路樹による景観の演出 ・ 緑地協定、建築協定などの活用 ・ 花いっぱい運動の推進 ・ 地区計画、緑地計画の活用など ・ 施設の適切な管理

みちの景観	
基本方針：北海道の空の玄関口である国際交流都市ちとせを意識した わかりやすく質の高い沿道景観づくりをめざします	

要素	景観特性	景観上の課題
道路	<ul style="list-style-type: none"> 交通の要衝として、機能的な道路網が形成されている 都心部では、車道の広さや通過交通量に対して、歩道部分の狭さが目につく 樽前山や恵庭岳を眺望する区間が存在している 	<ul style="list-style-type: none"> 道路ごとの整備内容やまちなみに統一感が感じられず、まちの個性が希薄になっている 都心部では、歩道の狭さやあつかいにくさが、まちなみの古さを増幅している
サイン	<ul style="list-style-type: none"> 主要な幹線道路が市街地を多数貫通しており、運転者に対する道路誘導標識類は比較的充実している 歩行者に対する案内サインはあまり見かけられない 	<ul style="list-style-type: none"> サイン類のデザインに個性が感じられず、国際性にも乏しい 駅や観光地では、来訪者に配慮した歩行者向けの案内表示が少なく、不便を感じさせている
広告物	<ul style="list-style-type: none"> 主要幹線道路沿道に屋外広告物が多数存在している 	<ul style="list-style-type: none"> 大型の広告物が周辺の眺望景観を阻害している ふぞろいな屋外広告物が、まちなみ景観に雑然とした雰囲気を与えている

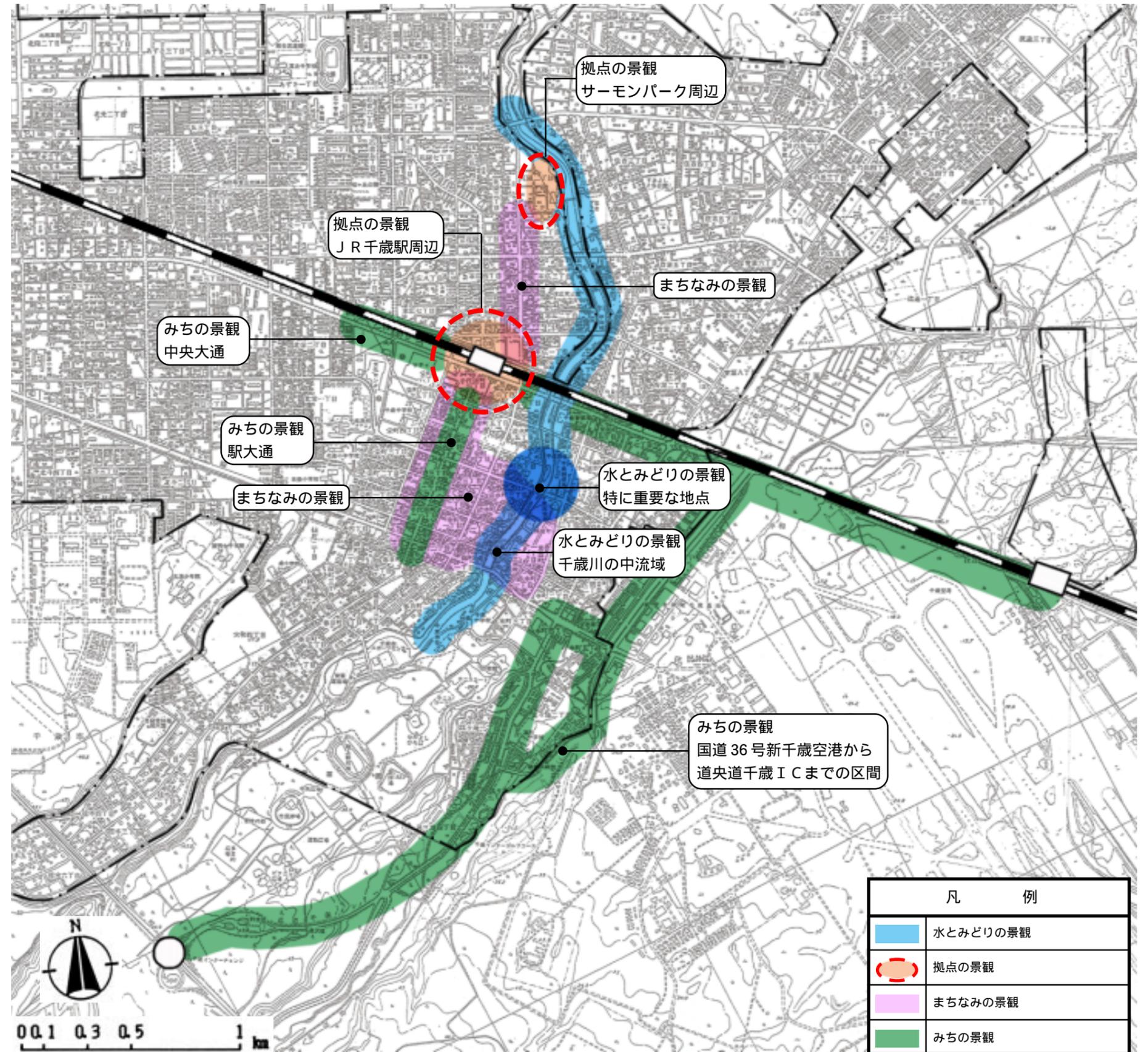
景観づくりの方針	景観形成推進策
<ul style="list-style-type: none"> 道路ごとに個性と統一感のある整備を行い、わかりやすいまちなみ形成を推進する 道路景観に潤いを与える街路樹や沿道のみどりを大切に育成し、豊かな沿道景観を形成する 自動車の利便性を確保しつつ、歩行者にも快適な道路空間の形成をめざす 	<ul style="list-style-type: none"> 街路ごとに花いっぱい運動などの市民レベルの活動 植樹樹などの市民活用 電線類の地中化、共架による集合化など 街路樹の保存・育成 街路樹のリニューアル 建築物のセットバック 景観材などによる歩行空間の整備 ユニバーサルデザインに配慮した歩道整備
<ul style="list-style-type: none"> サイン類の適正な配置とデザイン化により、来訪者に配慮したわかりやすい道づくりを推進する 	<ul style="list-style-type: none"> 適正な公共サインの配置の検討 公共サインのデザイン化の検討（外国語などの併記） 歩行者案内サイン計画の検討
<ul style="list-style-type: none"> 商業地以外での屋外広告物は、過剰な大きさや華やかな色彩の使用を控え、周辺自然環境や住環境に対し十分配慮する 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道屋外広告物条例の遵守・普及 新千歳空港アクセス沿道景観形成ガイドラインの遵守・普及 工業団地などでの広告物の集合化 商店街による屋外広告の統一 地区レベルでの誘導・規制

5. 都市景観形成上重要な地点の抽出

ここでは、千歳市がめざすべき都市景観形成の目標を達成するうえで、特に重要と思われる地点を、4つの「景観」ごとに抽出します。

都市景観形成上重要な地点とは、千歳市民や来訪者にとって、千歳のまちをイメージするうえでの骨格をなす地点千歳市民が早急に景観の改善を望んでいる地点改善することによって特に効果が期待できる地点の3つの項目にあてはまる地点をいいます。

しかし、ここで抽出された地点はあくまで代表的な例示としてあげたものであり、その他の場所についても、長期的な視野のなかで良好な都市景観の形成に努めていく必要があります。



6. 都市景観形成のイメージ

ここでは、4つの「景観」に対する都市景観形成のイメージを掲載します。

このイメージは、4つの「景観」ごとに抽出された景観形成上重要な地点を具体例として、千歳市がめざすべき都市景観形成の目標をわかりやすく理解していただくために、イメージ図として示したものです。

水とみどりの景観イメージ

千歳川の水辺に、親水性に配慮した護岸の整備や回遊性の散策路・橋の整備、オープンスペースの確保などによって、市民の身近な憩いの場をイメージしたものです。



拠点の景観イメージ

千歳駅西口広場に、オープンスペースを確保し、やさしい歩行者空間の整備、街路樹による緑化などによって、交流の場にふさわしい拠点空間をイメージしたものです。



まちなみの景観イメージ

建築物のセットバックや街路樹の保全・育成、花いっぱい運動による市民活動などによって、歩行者にやさしく個性的なまちなみが形成されることをイメージしたものです。



みちの景観イメージ

国道36号新千歳空港付近（新千歳空港アクセス沿道から樽前山を望む）に、花や植栽などによる演出を行い、個性的な街路灯の整備、屋外広告物の適正化などを図ることによって、北海道らしい雄大な沿道をイメージしたものです。



資料編

千歳市都市景観形成基本計画策定組織

千歳市都市景観形成基本計画策定委員会設置要綱 (設置)

第1条 千歳市都市景観形成基本計画(以下「景観計画」という。)の策定について調査審議するため、千歳市都市景観形成基本計画策定委員会(以下「策定委員会」という。)を置く。

2 景観計画は、都市景観の形成に関する基本的な方針を定めるものとし、次のものから構成される。

- (1) 都市全体の景観形成に関する基本方針
(都市景観ガイドプラン)
 - (2) 都市全体の景観形成を誘導する具体的な指針
(都市景観ガイドライン)
 - (3) 景観重点地区に関する景観形成方針及び誘導指針
(重点地区ガイドプラン及び重点地区ガイドライン)
- (所掌事項)

第2条 策定委員会は、次の事項を所掌する。

- (1) 景観計画(案)を作成し、市長に報告すること。
- (2) その他千歳市の都市景観形成に必要と認められること。

(組織)

第3条 策定委員会は、委員15名以内をもって組織する。

2 委員は、別表第1に掲げるものの中から市長が委嘱し、及び別表第2に掲げる職にある者をもって充てる。

3 策定委員会に委員長及び副委員長を置き、委員が互選する。

4 委員長は、策定委員会を代表し、会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

6 策定委員会に会議の円滑な運営を図るため、景観に関する専門的知識を有したアドバイザーを置き、北海道景観アドバイザーをもって充てる。

(任期)

第4条 委員の任期は、景観計画(案)が市長に報告されるまでとする。

(会議)

第5条 策定委員会の会議は必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。

(千歳市都市景観検討会)

第6条 策定委員会にその所掌事項の専門的な事項について、調査研究をさせるため千歳市都市景観検討会(以下「検討会」という。)を置く。

2 策定委員会又は検討会において必要があると認めるときは、関係ある者の出席を求め、意見を聴くことができる。

3 前2項に定めるもののほか、検討会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(事務局)

第7条 策定委員会の事務局は、企画部まちづくり推進課に置く。

(補則)

第8条 委員への報酬及び旅費の支給は行わない。

2 この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営に関し、必要な事項は委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年9月4日から施行する。

千歳市都市景観形成基本計画策定委員会名簿

別表第1(第3条関係)

(敬称略)

役職	所属	氏名	備考
委員長	北海学園大学 工学研究科教授	上田 陽三	学識経験者
委員	ちとせ都市景観 市民会議座長	伊藤 常良	
"	北海道開発局札幌開 発建設部千歳道路維 持事業所事務副長	佐々木一志	
"	北海道開発局石狩川 開発建設部千歳川河 川事務所計画課長	大串 弘哉	
"	北海道札幌土木現業 所千歳出張所次長	嶋崎 純一	
"	北海道石狩支庁経済 部建設指導課主査	廣島 諭	
"	北海道旅客鉄道株式 会社千歳駅副駅長	野副 健二	
"	北海道電力株式会社 千歳営業所配電課長	矢野 文教	
"	東日本電信電話株式 会社千歳営業所所長	山上 和則	平成12年12月22日まで

別表第2(第3条関係)

(敬称略)

役職	所属	氏名	備考
副委員長	千歳市企画部長	野元 和光	
委員	" 総務部長	太田 正孝	
"	" 市民環境部長	開発 一美	
"	" 保健福祉部長	長尾 忍	
"	" 産業振興部長	川端 正裕	
"	" 建設部長	新谷 俊一	

役職	氏名	備考
アドバイザー	濱田 暁生	北海道景観アドバイ ザー

千歳市都市景観形成基本計画策定委員会事務局名簿

(敬称略)

所属・役職	氏名	備考
企画部次長	吉川 隆憲	
企画部まちづくり推進課長	開発 治	
企画部まちづくり推進課 都市計画係長	徳永 隆	
企画部まちづくり推進課 都市計画係	小西 隆幸 品田 雅俊 森谷 淳二	

ちとせ都市景観市民会議設置要綱

- (設置)
- 第1条 千歳市の都市景観形成に関する基本的な方針を定める千歳市都市景観形成基本計画(以下「景観計画」という。)の策定に当たり、市民の意見を反映させるため、ちとせ都市景観市民会議(以下「市民会議」という。)を設置する。
- (所掌事項)
- 第2条 市民会議は、次の事項について討議する。
- (1) 景観計画の策定に関すること。
 - (2) その他千歳市の都市景観形成に必要と認められること。
- (組織)
- 第3条 市民会議は、委員20名以内をもって組織する。
- 2 委員は、次に掲げるもののうちから市長が選考する。
 - (1) 公募による者(5名以内)
 - (2) 景観形成に関し、専門的な意見を期待できる者
 - 3 市民会議には会議の円滑な運営を図るため、景観に関する専門的知識を有したアドバイザーを置く。
 - 4 アドバイザーは、千歳市都市景観形成基本計画策定委員会(以下「策定委員会」という。)設置要綱第3条第5項に定めるアドバイザーをもって充てる。
 - 5 委員はボランティアを原則とし、委嘱は行わない。
- (運営)
- 第4条 市民会議は、市民による自主参加自主運営を基本とする。
- (任期)
- 第5条 委員の任期は、景観計画(案)が策定委員会から市長に報告されるまでとする。
- (座長及び副座長)
- 第6条 市民会議に座長及び副座長を置き、委員が互選する。
- 2 座長は、市民会議を代表し、会務を総理する。
 - 3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故あるときは、その職務を代理する。
- (会議)
- 第7条 市民会議は必要に応じて座長が招集し、座長が議長となる。
- (庶務)
- 第8条 市民会議の庶務は、企画部まちづくり推進課に置く。
- (補則)
- 第9条 この要綱に定めるもののほか、市民会議の運営に関し、必要な事項は座長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年9月4日から施行する。

ちとせ都市景観市民会議名簿

(敬称略)

役 職	氏 名	備 考
座 長	伊藤 常良	街づくり千歳デザイン会議 経験者
副座長	上枝 敏八	
委 員	安藤 聖司	
"	今村 恵子	
"	内山 雅夫	
"	梅原 信	
"	大沼千枝子	
"	川村ジヤネット	
"	汲田由香里	
"	鈴木 邦康	
"	高田 知之	
"	武内 朋之	
"	福岡 和世	
"	堀川 久司	街づくり千歳デザイン会議 経験者
"	村中 敬維	
"	吉田 純一	街づくり千歳デザイン会議 経験者

役 職	氏 名	備 考
アドバイザー	濱田 暁生	北海道景観アドバイザー

千歳市都市景観検討会要綱

- (趣旨)
 第1条 この要綱は、千歳市都市景観形成基本計画策定委員会(以下「策定委員会」という。)設置要綱第6条第3項の規定により、千歳市都市景観検討会(以下「検討会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。
- (所掌事項)
 第2条 検討会は、次の事項を所掌する。
 (1) 千歳市都市景観形成基本計画(以下「景観計画」という。)の策定に係る専門的事項の調査研究に関すること。
 (2) その他千歳市の都市景観形成に必要と認められること。
- (組織)
 第3条 検討会は、別表に掲げる者をもって組織する。
 2 検討会には委員長及び副委員長を置き、委員長は企画部次長(都市機能整備担当)を、副委員長はまちづくり推進課長をもつて充てる。
 3 委員長は会務を総理する。
 4 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代理する。
- (任期)
 第4条 委員の任期は、景観計画(案)が策定委員会から市長に報告されるまでとする。
- (会議)
 第5条 検討会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。
- (作業部会)
 第6条 検討会に、専門的な調査研究及び検討を行うため、必要に応じ、作業部会を置くことができる。
 2 作業部会に座長を置き、座長はまちづくり推進課長をもつて充てる。
- (事務局)
 第7条 検討会の事務局は、企画部まちづくり推進課に置く。
- (補則)
 第8条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し、必要な事項は委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年9月4日から施行する。

千歳市都市景観検討会名簿

別表(第3条関係)

(敬称略)

役 職	所 属	氏 名	備 考
委員長	企画部次長 (都市機能整備担当)	吉川 隆憲	
副委員長	まちづくり推進課長	開発 治	
委 員	企画課長	三輪 忠則	
"	空港・基地課長	中村 康典	
"	人づくり推進課長	大沼友一郎	
"	主幹(公共交通担当)	芳賀 章	
"	開発振興課長	泉澤 豊和	
"	総務課長	清水 良治	
"	環境課長	太田 信英	
"	清掃管理課長	早川 毅良	
"	福祉サービス課長	結城 典之	
"	主幹(保健医療福祉ゾーン担当)	吉田 武弘	
"	商工労働課長	長谷川盛一	
"	農業振興課長	川端 忠則	
"	農村整備課長	保坂 豊美	
"	企業誘致課長	山口 頼彦	
"	道路管理課長	鳴海 重明	
"	道路建設課長	二ツ屋 香	
"	都市整備課長	櫻庭 克美	
"	建築課長	藤井由紀夫	
"	主幹(財・千歳市公園緑化協会)	近藤 春夫	
"	建設課長(病院建設推進本部)	溝江 満弥	
"	施設課長(水道局)	中村 文夫	
"	下水道課長(水道局)	大林 惇	

ちとせ都市景観ガイドプラン策定の経過

ちとせ都市景観ガイドプラン策定の経過は、以下のとおりです。

	平成 8 年度	平成 9 年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
<作業の流れ>		市民意識調査等現況の把握	都市計画マスタープラン策定		ガイドプラン策定
<委員会等>					第 1 回策定委員会 (H12年 9 月 4 日) 第 2 回策定委員会 (H13年 2 月 1 日) 素案策定 第 3 回策定委員会 (H13年 2 月 28 日) 原案決定 市長報告 第 1 回検討会 (H13年 2 月 6 日)
<市民参加>		千歳市の景観に関する市民アンケート (H9年 2 月 20 日 ~ 3 月 21 日)			第 1 回市民会議 (H12年 9 月 22 日) 第 2 回市民会議 (H12年 10 月 23 日) 第 3 回市民会議 (H12年 11 月 20 日) 第 4 回市民会議 (H12年 12 月 12 日) 第 5 回市民会議 (H13年 1 月 23 日) 第 6 回市民会議 (H13年 2 月 13 日)
<都市計画審議会>				先進地視察 (鎌倉・藤沢市)	策定経緯報告 (H12年 9 月 27 日) 素案報告 (H13年 2 月 14 日)
<議 会>					策定経緯報告 (H12年 7 月 25 日) 素案報告 (H13年 2 月 8 日)
<広報等>					市民会議委員公募 (広報 7 月号) 策定経過紹介 (広報 1 月号) ホームページ開設 (H13年1月10日)

用語の解説

<ア行>

アイデンティティ

自己同一性、自分らしさ。

アクセス

目的地に近づく方法及び交通手段や交通機関。

アメニティ

環境などの快適性、居住性のよさ。

イメージカラー

町や地域を連想させる色彩。

インフォメーション

情報を伝達する場所や手段。

インフラ（インフラストラクチャー）

社会生活の基盤となる構造物の総称。

<カ行>

コンセプト

概念、観念などと訳される。ある事象全体に関する一貫した考え方。

<サ行>

サイン

情報を伝達するさまざまな手段・事柄。本ガイドプランの中では、主に案内板や看板類を示す。

ストリートファニチュア

道路や広場などの外部空間を演出するさまざまな装置。電話ボックス・ポスト・案内板・ベンチ・ゴミ箱などがある。

セットバック

建物の配置を、前面の道路境界などから後退することで、半公共的な空間を確保する行為と考え方。

<ナ行>

ネットワーク

人と人とのつながり、連絡網や交際網。本ガイドプランでは、人だけではなくみどりや道路網のつながりを含む。

<ハ行>

パートナーシップ

友好的な協力関係と訳される。本ガイドプランでは、公共が事業を行う際、一般市民や地域住民・事業者などの理解と協力のもとに、互いの役割を明確にしながらともに取り組む姿勢と考え方を示す。

バリアフリー

高齢者、身障者などの社会的弱者の使い勝手を考慮したものづくりの考え方。

プランター

草花を栽培するための容器。街路空間を演出するストリートファニチュアのひとつ。

ポケットパーク

市街地の空地や建物前の小広場などを利用して設けられる小公園。

<マ行>

モニュメント

記念碑や記念建造物。地域や時代を象徴する工作物を示す。

<ヤ行>

ユニバーサルデザイン

バリアフリーの概念をさらに進めた考え方。社会的弱者、健常者の区別無く、すべてのひとの利便性に配慮する考え方。

<ワ行>

ワークショップ

複数の人々による協議の場とその手法。自由な意見の中から、グループ内の意見をまとめ、少数意見にも配慮した合意形成をはかる。